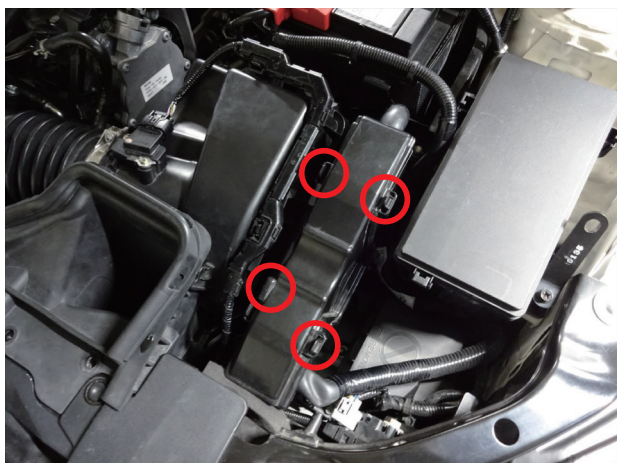
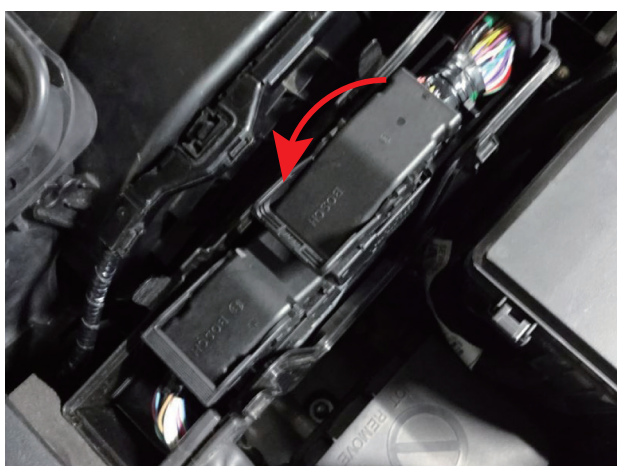


！注意！ ECUの取り外し作業はエンジンが十分に冷えた状態で行ってください！



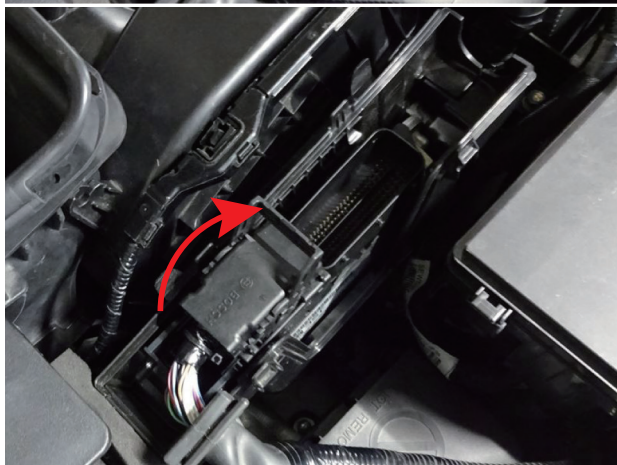
- ① エンジンルーム助手席側に純正ECUボックスがあります。
左図丸印部分の爪を外して、
ECUボックスのカバーを取り外してください。



- ② ECUに接続されている純正の2つのコネクタをそれぞれロックレバーを左図のように起こして取り外してください。
また、ECUボックスからハーネスのグロメットを外し、ハーネスをボックスから離すように避けてください。

※ コネクタを外す際に、ロックレバーが完全に起きていない状態で、無理にコネクタを抜こうとすると、コネクタの破損やピンの曲がり、破損の原因となりますので、十分に注意してください。

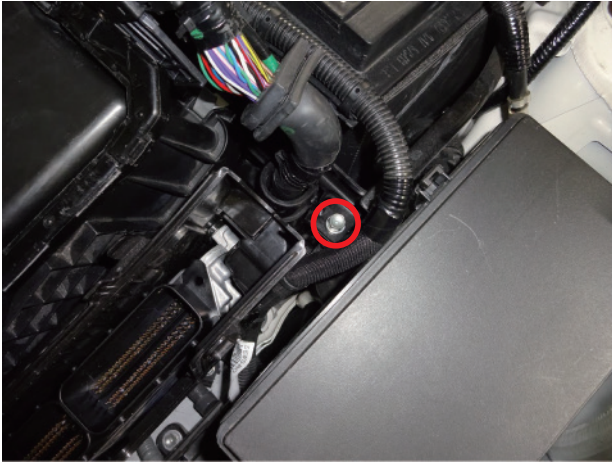
※ ECUやハーネス側のコネクタにゴミや水分が入らないよう必ず養生を行ってください。



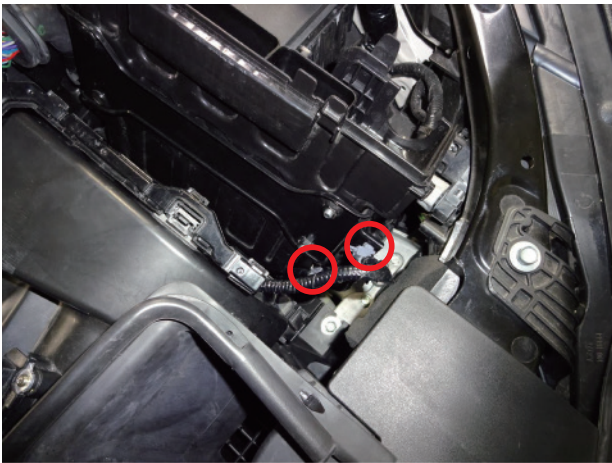
- ③ ECUボックス前側のボルトを取り外してください。

※ ボルトは非常に短い上、奥まった場所にあるためボルトの落下には十分に注意してください。
200mm以上のエクステンションと磁石などボルトの落下を防ぐ機構がついたソケットの使用をお勧めします。





④ ECUボックス後ろ側のボルトを取り外してください。



⑤ ECUボックス裏側に固定されているハーネスのクリップを取り外してください。
外したハーネスなどにECUボックスのステーが引っかからないように、ECUボックスを車両から取り外してください。



⑥ ECUボックスのボルト、ナットを取り外して、ECUボックスからECUを取りだしてください。
左下図の状態でおオーダーシート記載の送付先にECU本体を送付してください。

